西東京ふるさと探究学習記録様式（ショート）

令和６年度

地域とともにある学校づくり

ひばりが丘中学校３年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：（活動名）　意見文を書こう　～一五歳の主張～

ねらい：

（１）社会や日常生活の中から関心のある出来事を見つけ、自分の意見をもつ。

（２）自分の考えをまとめ、発表する力をつける。

（３）互いに意見を聴きあい、理解したり考えを広げたりして、意見を伝え受け止めあう関係をつくる。









意見文発表会では、「『未来の東京』を生きていくために『私（僕）』にできること」をテーマにして、夏休み中に考えたり調べたりした内容を発表しました。

３年間の総合的な学習の時間で、「川越」「浅草」「京都・奈良」の SDGs を調べてきました。SDGs の達成目標まで、あと６年です。６年後、21 歳になっている生徒たちが、今までの学習を経て考えた「未来の東京」「未来の西東京市」は構成がよく練られており、聞いている方もじっくりと未来について考えることができました。

【生徒の意見文（一部抜粋）】

SDGs の取り組みをしているのが一部の企業や個人だけであり、都民全体の意識が低いからではないでしょうか。SDGs17 番「パートナーシップで目標を達成しよう」貧困や環境問題を解決するためには、具体的な目標を立てるだけでなく、全員が意識して行動しなければいけません。私は、まず自分たちがこの問題に関心をもつべきだと考えます。次世代を担う私たち中学生が東京の課題や SDGs について知ることで、今行われている取り組みを未来に受け継ぐことができます。

まとめ　コラム

３年間の総合的な学習の時間で調べてきた「川越」「浅草」「京都・奈良」の SDGs と西東京市を結び付けることに生徒は難しさを感じていました。しかし、改めて SDGs を調べていくと、「今住んでいる地域でできること」「次世代を担う自分がやらないといけないこと」がはっきりと見え、身近な視点と世界に視野を広げた見方で、社会に関心をもつことができました。